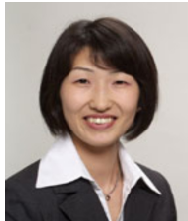


たばたあずみ



Tell・Fax 550 6674

山根とみえ



Tell・Fax 550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax 558 9721

9月議会

2本の意見書を提案しました

日本共産党あきる野市議団が、9月議会に際し提出した「再生可能エネルギー活用推進を求める意見書(案)」「小中学校へのエアコン設置の補助金の助成年度の延長を求める意見書(案)」は、最終日9月24日に審議・採決されました。意見書の提出にあたっては、提出者となった山根議員・たばた議員が各会派に足を運び、全会一致になるように意見を聞き、調整しました。以下、審議の結果と内容を紹介します。

全会一致で採択！

小中学校へのエアコン設置の補助金の助成年度の延長を求める意見書

毎年の猛暑と、それに伴う熱中症の増加などを背景に実施された東京都のエアコン設置の補助金ですが、23・24年度のみとごく短期間に限定されているため、財政のきびしい自治体ほど十分に活用できない矛盾があります。あきる野市でも要望のつよい、小中学校の普通教室へのエアコン設置を実現させるために、東京都に対して補助金の延長を求める意見書です。

この意見書については、多少調整を行いました。「小中学校にエアコン設置を求める陳情」が趣旨採択されていたこともあり、全議員が賛成して採択されました。



議長判断で不採択

再生可能エネルギー活用推進を求める意見書

福島第一原発の事故をきっかけに、再生可能エネルギーをもとめる声が高まっています。いまでも原発に対する意見はさまざまですが、環境問題などの視点からも、再生可能エネルギーの活用・推進は今後の課題です。あきる野市のような財政のきびしい自治体でも豊富な自然環境を生かした発電などに取り組めるよう、国や東京都からの支援を求める意見書です。

事前の調整では反対する会派からは意見が出ませんでした。全員の賛成が得られなかったため、たばた議員が提案者となり審議が行われました。原発は必要と考えるが、再生可能エネルギーの推進は必要なので賛成するという意見がある一方で、具体性に欠けるとか、温暖化の原因は二酸化炭素ではない、この意見書の裏には脱原発の意図が隠れているなどの言いがかりのような意見が出て、採決では10対10の同数で、議長が判断することになりました。本会議での同数は、あきる野市では初めてのことで、議長の慎重な判断が求められましたが、議長はその判断の根拠や理由も説明せず、ただ「不採択」を宣言しました。

市民からの陳情 3件が趣旨採択に！

9月議会に提出されていた陳情のうち「JR秋川駅自由通路のエレベーター設置に関する陳情」「あきる野市の子ども達を放射能から守るための陳情」「小中学校にエアコン設置を求める陳情」は、趣旨採択されました。

趣旨採択は、執行強制力こそないものの、その内容を議会が理解し、必要と認めたということです。

この結果は、「秋川駅」については2987筆、「エアコン」については6716筆にのぼる署名と、各委員会当日に傍聴に詰めかけた、のべ49名の市民の力が大きくはたらいて勝ち取った成果です。傍聴者からは「陳情にかかわったのは初めてですが、市政ってくらしと関係ないものじゃないんですね。これからは、わたしたちのためにがんばっている議員さんを応援しながら、政治に目を向け続けたいと思います」などの声が届いています。

わたしたち日本共産党あきる野市議団も、市政をよくするためがんばっていますが、本当に市政を動かすのは市民一人ひとりの力だということを、もっと多くの方に知っていただきたいと思っています。

	日本共産党 あきる野市議団	民主党	新風会	政和会	
賛成	戸山 沢根 たばた	中村 清水	村木 奥秋	合川 野村 細谷	
	志清会			公明党	市民 クラブ
反対	町田 田野倉 市倉	浦野 堀江 子籠 岡野	田中 松原 増崎	沢井 (議長)	

法律相談

10月27日(木) 13時30分～15時  
予約が必要です。市議団までご連絡ください。